

# 独自回線で快適接続

## レキオス ネット新サービス

不動産業などを手掛けるレキオス（那覇市、宣保文雄代表取締役）は20日、二つの大容量高速インターネット通信



新サービスをPRする（左から）レキオスの仲田哲善常務取締役、宣保文雄代表取締役、ピージーエム沖縄の許田洋取締役社長。20日、ザ・ナハテラス

サービスの提供を始めた。同社独自で構築したネットワーク「レキオス網」を活用することで、大容量高速通信の「レキオスダイレクト」と、通信の最適化を図る「レキオススマートウェイ」の2サービスを用意。快適なインターネット環境を提供する。

レキオス網の活用で、県内の主要データセンターやクラウドサーバーと直接接続ができ、高速かつ大容量のデータ通信が可能となる。レキオス

ダイレクトは建物に専用回線を接続するため、高速性がありセキュリティも高いという。レキオススマートウェイは、混み合う既存の共有網を避け、レキオス網に接続することで、速度遅延を防ぐことができる。レキオス網を活用した同サービスは全国初の技術という。

同日、那覇市内で会見した宣保社長は「誰もがインターネットを使える社会、住みよい社会をつくる未来のプラットフォームとして普及させたい」とPRした。両サービス合わせて年内で2500契約を目指す。「ダイレクト」は賃貸物件一括導入サービス月額2万円（税抜）、「スマートウェイ」は同サービス月額1万2千円（税抜）から。

問い合わせはレキオスダイレクト・レキオススマートウェイ相談窓口、電話（0120）946512。